

浸透型石材用保護コーティング剤

AD-COAT

深く浸透し 高品質・高耐久 吸水防止層で石を守る

石材に携わる様々なプロに使用され、**商業施設・官公庁・文化財・ホテル・マンション・墓石**
モニュメント・文化財・一般住宅など、数多くの実績を持つプロ仕様の石材用保護剤です。

塗布する事で石材内部に浸透し、結晶化する事で汚れの
染み込みを軽減し、長期にわたって天然石を保護します。

御影石用浸透性吸水防止剤

AD-ホワイト

撥水剤の様に表面撥水を目的とした製品ではなく、
素材本体が持つ毛細管を埋め、素材を緻密にし、
吸水性を低下させる製品です。
御影石に塗布すると、深く浸透し耐久性のある分厚い
吸水防止層・防汚層を形成、長期に渡り御影石を保護します。



●AD-COATシリーズの特徴

- ① 皮膜ではないため、艶や色・風合いを一切変えません。
- ② 高耐久性で長持ち、浸透性なので剥がれもありません。
- ③ 室内環境基準・ホルムアルデヒド放散量 基準値以下
- ④ 食品衛生法・食品、添加物等の規格基準をクリアした製品です。

●AD-COATの主要実績

官公庁

- ・ベルギー大使館・国立国際美術館・明治大学
- ・参議院議員会館・神戸市立博物館(登録有形文化財)

ホテル

- ・グランドハイアット東京・ザ・リッツ・カールトン東京
- ・ザ・ペニンシュラ東京・ルートインホテルズ

商業施設

- ・六本木ヒルズ・東京ミッドタウン・テレビ朝日本社
- ・TIFFANY銀座ビル・表参道ヒルズ・キャノン本社ビル

マンション

- ・三井レジデンシャルシリーズ・六本木ヒルズレジデンス
- ・品川Vタワー・野村不動産新浦安マンション
- ・元麻布ヒルズ・愛宕グリーンヒルズ

浸透型石材用保護コーティング剤 AD-COAT

塗布する事で石材内部に浸透し、しっかりとした濡れ色仕上げとなり
長期にわたりウエット感を持続させます

石材用濡れ色仕上げ剤

AD-セラレジン1



AD-セラレジン1は、石材・タイル用の耐候性塗膜保護剤・ウエット仕上げ剤です。
セラレジン1は、紫外線や酸性雨による劣化がほとんどありません。従って内・外部を問わず使用出来、
外部でのウエットコート仕上げに使用しても、浸透タイプのウエットコートと比べて長期に渡り濡れ色を維持できます。
また使用用途に応じて、素材に強く密着し耐候性に優れた光沢のある高硬度の塗膜を形成します。
石材・タイル等の表面に造膜させる事により汚水・油・たばこのヤニ等、駆体表面からの汚れの浸入を防止します。
この塗膜は通気性があるため、石材の呼吸は妨げません。

●AD-セラレジン1の特徴

- ①内部・外部問わず使用が可能です。
- ②高耐久性で長持ち、ウエット感を長期わたり持続させます。
- ③使用用途に応じて、塗膜を形成する事が可能です(壁面推奨)
- ④食品衛生法・食品、添加物等の規格基準をクリアした製品です。



酸性 エフロスカット

使用方法

エフロがひどい場合はケレン等を使用し物理的に除去して下さい。エフロの状態にり希釈を行い、刷毛・モップ・ブラシ等で塗布して下さい。反応がなくなるまで、塗布を行なって下さい。使用後は、必要に応じてアルカリ性洗剤・中和剤で中和し汚水を全て回収してください。目地・コンクリート部分が周辺にある場合、使用前に中和処理をして下さい。

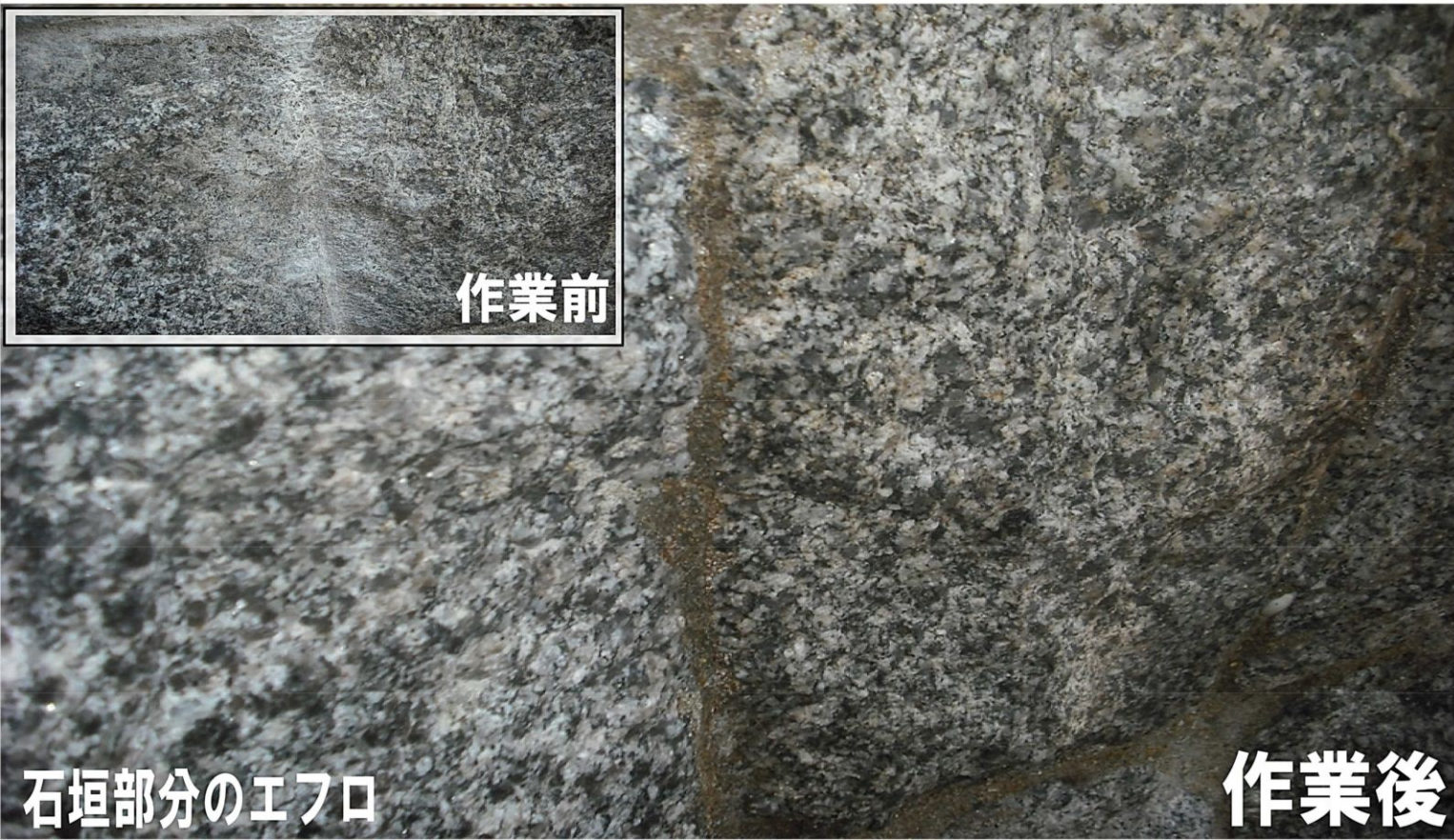
ポイント

- ①物質的に取れるエフロは、事前に削るなどの処理をして下さい。
- ②石の凹凸に入り込み、固着したエフロは、エフロスカットを使用して除去を行なって下さい。
- ③エフロはエフロスカットと接触する事で反応し分解されます。強く擦ったりするよりも、洗剤を繰り返し塗布し、反応をさせて下さい。
- ④塗布するエフロスカットは、可能な限り綺麗な状態を保つようにして下さい。
- ⑤作業後は、十分に水洗いを行なって下さい。

大理石への使用不可 御影石の鏡面には使用注意

使用前に必ずテスト施工を行なって下さい

現場事例



石垣部分のエフロ

作業後



使用方法

コケ・藻が発生した箇所に刷毛やブラシでヨケスカット塗布し、10分程度放置した後、水洗いしながらブラッシングして下さい。コケや藻が残る場合は、上記要領を繰り返して下さい。

高圧洗浄機を併用しますと、さらに効果的です。

ポイント

- ①洗剤を塗布する前に、削るなどして取れるコケ等は除去して下さい。
- ②洗剤を刷毛・ブラシ等でムラ無く塗布して下さい。コケ・藻・カビが酷い箇所は、あらかじめ追い塗り・ブラッシングを行なって下さい。
- ③10分程度放置した後、高圧洗浄機を使用して「叩き洗い」を行なって下さい。
- ④軟石などの場合は、洗剤・高圧洗浄でほとんど除去できますが、凹凸が多い石に関しては、部分的に削るなどの手作業が必要です。
- ⑤酸性洗剤との併用・混入は絶対に行わないで下さい。

使用前に必ずテスト施工を行なって下さい

酸性洗剤との併用・混入厳禁

現場事例



作業前

作業後



中性
サビスカット

使用方法

サビスカットの原液～10倍液を塗布し数分間放置後、よくブラッシングして下さい。
反応し始めると錆が紫色に変化します。錆が無くなったら良く水洗いを行ってください。

取れにくい場合は、湿布後を行って数時間放置してください。

紫色が残る場合は十分に水洗い後、乾燥させサビスカットを塗布し再度水洗いをして下さい。

ポイント

- ①本施工に入る前に、錆と思われる箇所に少量塗布し「紫色変化」の確認を行ってください。
- ②紫に反応した箇所に、追い塗りする事も可能ですが、一度水洗いを行い乾燥させ、再度塗布した方が、顕著な反応を得る事ができます。
- ③紫色の反応が無くなる・少なくなるまで、上記の作業を行なって下さい。
- ④塗布した後の刷毛は、その度、水洗いを行なう事をおすすめします。サビスカットが入った容器内で鉄分が反応し、サビスカットの効果を低下させます。

サビスカットとの併用・混合はしないで下さい。

長時間の湿布による、反応色の沈着に注意してください。

使用前に必ずテスト施工を行なって下さい

現場事例

御影石 持ち錆除去



作業後



使用方法

汚れ部分にシミスカットをナイロン刷毛で塗布して下さい。シミがひどい場合は、吸水ペーパー・ラップなどを使用し乾燥しないように湿布処理を行って下さい。使用後は、良く水洗いを行ってください。湿布後スチームクリーナーを使用すると効果的です。

ポイント

- ①新しく付着したシミに関しては、塗布する事で除去が可能ですが、長年にわたり付着、浸透したシミに関しては、湿布処理が必要になるケースが多くあります。
- ②湿布を行なう場合は、シミスカットが乾かないようにビニール素材のもので外気との遮断をしっかりと行なって下さい。
- ③スチームクリーナー等で熱を与え、シミスカットを塗布するとシミが抜けやすくなります。
- ④長時間、湿布を行なう事で、石の艶がなくなるといった事はありませんが、事前に塗布後の変化が無いか確認を行って下さい。

サビスカットとの併用・混合はしないで下さい。漂白作用があるため脱色の可能性がある物に注意して使用して下さい。

使用前に必ずテスト施工を行なって下さい

現場事例



酸性



作業前



作業後

水垢スカット



使用方法

汚れに応じて原液を希釈し、刷毛・モップ・ブラシ等で汚れ部分に塗布してください。汚れがひどい場合は、洗剤の付いたブラシでよくブラッシングしてください。使用後は、アルカリ性洗剤・中和剤で中和し汚水を全て回収してください。目地・コンクリート部分が周辺にある場合は、使用前に中和処理をして下さい。

ポイント

- ①物質的に取れる水垢は、事前に削るなどの処理をして下さい。
- ②石の細かな凹凸に固着した水垢は、水垢スカットを使用して除去を行なって下さい。
- ③水垢スカットを使用する場合は、作業範囲を限定し、少しずつ作業を行なって下さい。
- ④水垢スカットの「つけおき」は絶対に行なわないで下さい。
- ⑤研磨材が入ったパッドなどを併用すると作業時間が短縮されます。

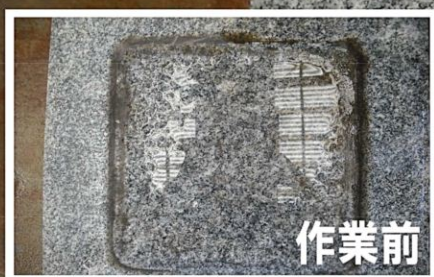
大理石・御影石の鏡面には使用不可

艶ボケ・色抜けに注意して下さい

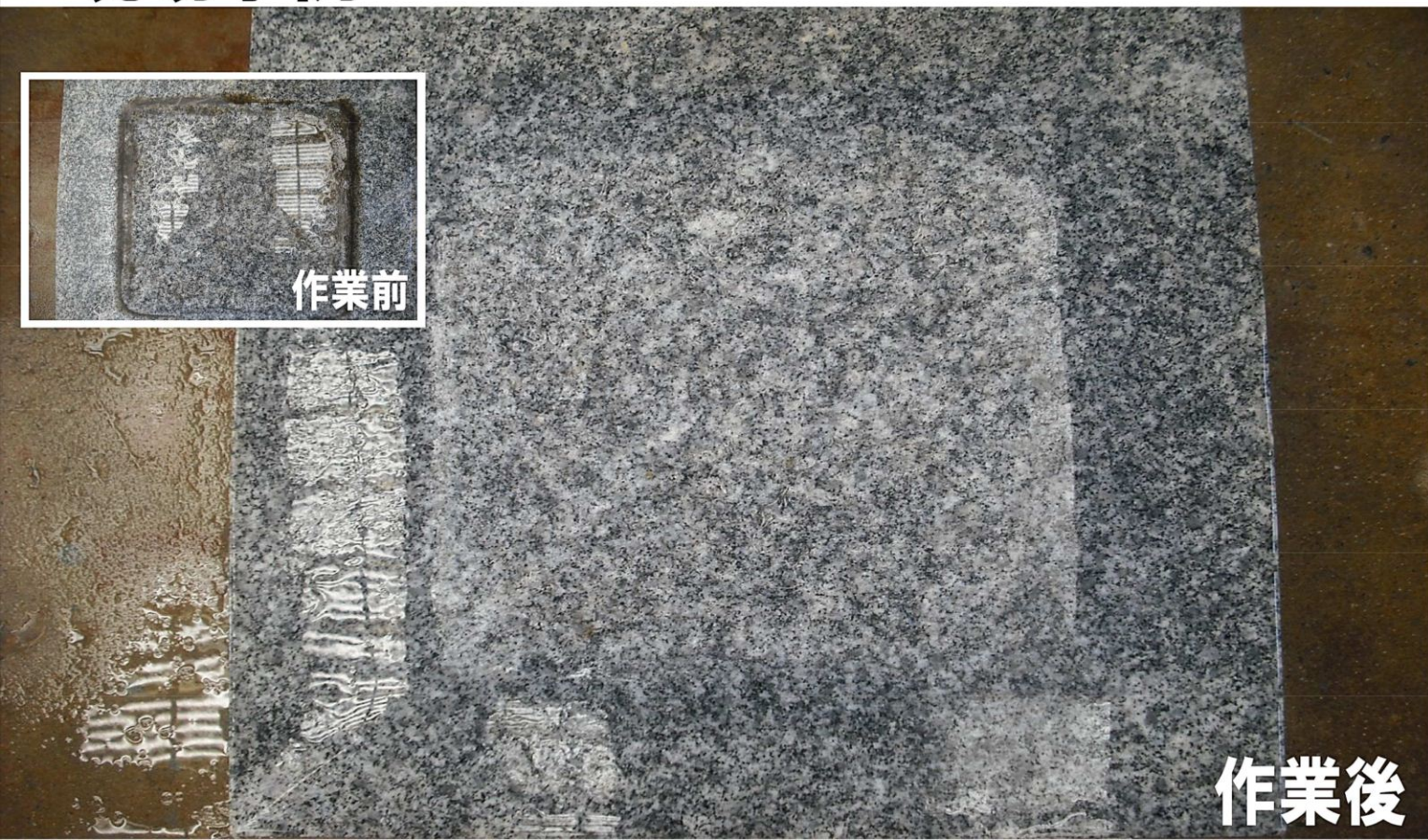
フッ化アンモン4%以下含有

使用前に必ずテスト施工を行なって下さい

現場事例



作業前



作業後